

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇 消防署長 様

住所 福島市天神町〇〇番〇〇号
 申告者 職業(職) 会社員 電話 534-9105
 氏名 消防 太郎

車両・船舶・航空機罹災申告書

1	罹災年月日	〇〇〇年〇〇月〇〇日		罹災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者			
	罹災場所	福島市天神町〇〇番〇〇号						
2 車 両	運転者氏名	消防 次郎		購入年月	平成25年12月			
	用途別	自家用車		購入金額	250万円			
	車両番号	福島〇〇〇〇〇〇-〇〇		年式	平成25年式			
	焼けた箇所	エンジンルーム 車内		消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所		ボンネット、フロントガラス破損 その他		
3 船 舶 ・ 航 空 機	船長・機長名			船名・機名				
	用途・機種			就航年月				
	トナ数・駄数			購入金額				
	焼けた箇所			消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所		その他		
4 積 載 物	品名	数量	罹災別	購入年月	購入単価(円)	損害見積額(円)	※残存率	※消防機関算定額
	スーツ	1	焼・消・爆	R1.12	30,000	30,000		
	パソコン	1	焼・消・爆	R3.1	120,000	120,000		
			焼・消・爆					
			焼・消・爆					
			焼・消・爆					
			焼・消・爆					
			焼・消・爆					
			焼・消・爆					
			焼・消・爆					
5	火災保険契約会社名	〇〇共済組合			保険金額	200万円		

※印の部分は、記入しないでください。

備 考

- 1 この申告書は、消防法第 34 条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、罹災した日から起算して 7 日以内に提出してください。

【記 載 要 領】

- (1の欄) 罹災物件と申告者との関係の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。また、罹災した場所の欄は、火災になった場所を記入してください。
- (2の欄) 用途別の欄には、自家用車、貨物、タクシー、乗合バス、機関車、客車などの別を記入してください。
- (3の欄) 用途・機種欄には、客船、貨物船、旅客船、旅客機、観測機などの別を記入してください
- (4の欄) 1 品名、数量の欄は、品名ごとに数量を記入してください。
2 罹災別の欄は、次によりあてはまるものを○で囲んでください。
・焼：火災、受熱等によって焼けた、壊れた、煤けた、溶けたりしたものなど
・消：消火のために壊れた、濡れた、汚れたものなど
・爆：爆発により、壊れたものなど
3 損害見積額の欄は、罹災した物件の時価を基準として、被害の程度により損害額を見積もってください。
- (5の欄) 車両等の火災保険に加入している場合のみ記入してください。